



I 経営の基底

「日に新た」

“日に新た”は校歌の3番にある言葉である。毎日を新しい気持ちで迎え、絶えず向上し、成長し続けることの重要性を説いている。

1873年(明治6年)に「第一番左沢学校」を創立した先達の先見性、先進性や、153年の歴史の中で培われた創造的な教育実践に学びつつ、予測困難で変化の激しいこれからの時代を、自分で舵取りをし、自分らしく生き抜くことのできる児童の育成に取り組んでいく。

II 大切にしていきたいこと

- (1) 学びの当事者である児童の学校運営への意見表明や具体的参画
- (2) 語い力の育成と言語環境の向上・充実
- (3) 児童の多様なニーズの包摂による共生教育の深化
- (4) 「デジタルの力でリアルな学びを支える」活動の充実
- (5) 持続可能な学校運営の在り方の追求による実現可能性の確保

III 育成を目指す資質・能力

経営の基底		日に新た		
学校教育目標		あかるく	かしこく	たくましく
めざす子どもの姿		心豊かな子ども	進んで学ぶ子ども	健康な子ども
学校研究主題		「主体的に学び続ける姿をめざして」		
生涯学習の基盤が 培われるように	知識及び技能が習得されるようにすること	・ 言葉のより良い使い手となる	・ 「好き」「得意」を見つける・つくる	・ 「安定したリズム」で生活する
	思考力、判断力、表現力等を育成すること。	・ 思いやりのある言動に心がける	・ 自分と学びや生活を結び付ける	・ 自他の安全に気をつける
	学びに向かう力、人間性等を涵養すること	・ ルール・マナーを大切にす	・ 情報を収集し意見を形成する ・ 学習習慣をつくる	・ 進んで運動に取り組む

IV めざす教職員像

「山形県教員『指標』」に基づくキャリアステージに応じた資質・能力を身に付けた教職員

教諭、養護教諭、栄養教諭のキャリアステージ(5段階)

- ・ 着任時の姿 (初任時)
- ・ 始発期 (初任時～3年目) ・ 成長期 (4年目～10年目)
- ・ 充実期 (11年目～20年目) ・ 組織運営期 (21年目～退職)

V 経営の基本方針

- 1 「第7次山形県教育振興計画」の趣旨を適切に理解し、学校・家庭・地域の連携・協働のもと、「県民みんなでチャレンジ」の4つの重点的取組みを実践する。
- 2 「学校における働き方改革」の一層の推進を図り、教職員が、自らの授業を磨くとともに、自らの人間性や創造性を高め、効果的な教育活動を行う学校を創る。
- 3 昨年度末の学習端末の更新を契機に、ICTを活用した学習活動の一層の充実を図り、「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学び」を具現化する。
- 4 学校運営協議会を中心に、家庭や地域との連携・協働を深め、「第4次大江町教育振興計画」の趣旨を踏まえた効果的・効率的な教育活動を創造する。
- 5 「大江町の小中学校のあり方基本方針」に基づく令和10年度の本郷東小学校との統合を見据え、教育課程や教育環境等についての具体的検討を行う。

VI 今年度の重点

あかるく

(1) 主体的・協働的な学びが創出する「児童主体の教育活動」の推進

- 児童の想像力と創造力が生かされる児童主体の教育活動の実践
- 学校や地域の更なる発展に主体的に関わろうとする態度が醸成される児童主体の教育活動の推進

(2) 生徒指導の充実といじめ及び不適切な言動の未然防止

- 「生徒指導提要」に基づく「児童が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動」の実現
- いじめや不適切な言動の未然防止・再発防止に向けた家庭・地域・関係機関等との連携
- 全ての教育活動の基盤としての「心理的安全性」の確保

かしこく

(3) 学習の基盤となる資質・能力の更なる育成(言語能力・情報活用能力)

- 学年ブロック(低・中・高)内の密接な連携や、教科担任制・TT体制等の実施による専門的・協働的な指導の充実
- 各教科等の学習や特別活動、家庭学習等におけるICTを活用した児童間の意見交換や相互理解、協働作業、学び合い等の促進
- 全教育活動を通じた語彙の量・質の向上並びに読書活動の深化

(4) 教職員の主体性・創造性が発揮される学校研究の実践

- ICTの活用等による「授業と家庭学習との結びつきの深化」を通じた学習習慣の形成並びに主体性に関わる資質・能力の育成
- 「研修履歴を活用した対話に基づく研修受講」等を通じた教職員の「担任力」の向上と研修成果等を生かした授業等の実践

(5) 教育の質の向上と実現可能性の確保に向けた教育課程の工夫・改善

- 学校運営協議会における熟議やPTAとの情報共有等を通じた持続可能な学校運営の在り方の追求と実現可能性の確保
- 地域・社会の資源等を児童の視点から捉え直し、新たな価値を創造し、表現・活動・発信するカリキュラム・マネジメントの実現
- 地域・社会の資源等をキャリア教育の視点から捉え直し、児童のキャリア発達を促進する授業の創造

たくましく

(6) 健康で活力ある学校生活へ向けた健康・生活習慣の形成

- 学校生活の見直しを持ち、心身の状態を整え、学習の準備を計画的に行う意識の醸成
- メディアコントロールの継続的な実践等による適切な生活習慣の形成

(7) 豊かなスポーツライフの実現及び健康の保持増進に向けた意識の醸成

- 「する・みる・支える・知る」のスポーツとの多様な関わり方を通して豊かなスポーツライフの実現に向かう体育授業等の実践
- 健康や体力、生活習慣等に関する省察を基に、健康の増進について考え、実践化を図る授業の推進

(8) 安全教育の充実と家庭・地域との連携・協働

- 様々な緊急事態に対応する力を育む安全教育の充実・深化
- 家庭・地域・関係機関等と連携した日常的な情報収集と安全な環境の確保